

大変やア 膝にげそが棲んでいる

上塚 弘

「な・なんやこれ！」

目の前を流れるような白い奇妙な物体は、岩に挟まれ足を喰い千切られた烏賊の足？

「あれが半月板の残り滓です」

鉗子でひとつずつ摘んで取り去られます。

画面は変わり、今度はあさりの貝柱！

「半月板です。ほとんど原型はありません」

鉗子で二回、三回と咬んでいるうちに、すうーと浮かんで取れてきました。

画面が変わり白い真ん丸なお碗のような石が出てきました。

表面はなにか禿げたらしい、黄色ないしは茶褐色のべとつーとした模様が見える。

白い貝に付着したへドロ？

それとも白砂に埋まった鮑？

「半月板がありませんやろ、上の骨と下の骨とがぎゅうぎゅう擦れて、骨膜が剥がれたところですよ。それにしてもようこまでほっときましたね。しかも、この年になるまでバスケットなんかして」

「先生、もう一つだけお伺いしますが、プラランクトンみたいに浮いている粒は何ですもん」

「これは、尿酸の結晶です」

モニター画面に映し出される、内視鏡下での関節腔は灌流がしてありますから、まるで海中の画面を覗いているようなもの。

まあさしづめNHKの『大自然の驚異』なんて番組を覗いているようなもんです。

烏賊、あさり、鮑、そしてプラランクトン
まるで海鮮三品XO醬炒めやおまへんか。

因は
こんなにまで半月板がメチャクチャになった原因は

(その1) 昭和41年の春に遇った、交通事故。

当時住んでいましたのは国道2号線沿い、保健

所の西隣でした。

往時2号線といえども交通量は少なく、芦屋市でも、信号機も確か3つぐらいしかありませんでした。

雨の降る夜でしたが、大阪方面行きの車が止まったことを確かめ、中央分離帯の所まで渡りました。神戸方面行きは中央分離帯側の車線には2、3台止まってくれたことを確かめ小走りに横断歩道を渡りました。

まさに渡り切ろうとした瞬間、内側車線から中抜きをしてきた車にドカーンとはねられました。若かったからでしょうか、体をまるめた状態で左下半身から叩きつけられました。まんの悪いことに、親父は脳溢血で神戸大学に入院中、おふくろは付きっ切りの看病とあって、まさに我が家はピンチもピンチも大ピンチ！

「心配するから、言ったらあかんで」と弟と妹には命じておきましたが、

「ごめんなあ、よりによってこんなときに、えらいことになってしまった」と必死になって痛みを堪

えていました。

おい、いまでもひどいやつちゃと恨んでるでえ

「某国の出先機関の所長のおっさん」

無知な世間知らずの学生やおもって、あろうこととに、警察まで行って、自分の不始末を棚にあげ、事故そのものまで隠蔽したのは……

かくして、小生の車に跳ねられたという事実、左大腿部にある10cmほどの筋肉のへっこんだ跡以外証明するものがありません。

ただ小生は運転免許は持っていますが、事故以来地震まで決して車の運転はしませんでした。

また信号機をつけるように警察にお願いします。と、しばらくすると信号機が設置されました。

(その2) 中学以来続いていたバスケットボールにおける、あやまった練習方法。

当時の甲南は大変強く、インターハイの常連校でした。

もつとも私は下手なほうから数えるほうが早い部員でしたが、熱心に、熱心に練習をしました。

今ではこんな練習は絶対禁忌になっています

が、当時流行ったのが「うさぎ飛び」通称ピョンピオンでした。

明けても暮れても、コートのをりをりをピョンピョン。雨が降ったら廊下でピョンピオン。これだけやると、家の階段は這ってしか昇れなく、足が急に太くなります。

「力がついて、腰が強くなった」とピョンピオン信奉者の先輩に誉められましたが、この間、小さな膝の中の半月板はカチン・コチンと衝撃を受けつづけていたのです。これは我が母校に限らず、全国的な傾向でありました。

「日本のバスケットはピョンピオンやったら世界一やが、……」と言われる所似です。

(その3) 今年の春の広島大学とのO.B戦で、よせばいいのにボールを捕りに、飛び込むもうとしたとたん、相手の選手と衝突して膝を強打したこと。

当日はメンバーが揃わず、3試合も出ました。懇親会では座れず、卓袱台の上に腰をかける始末で、ほうほうの体で退席、腫れあがった膝からは60mlもの血性の関節液が出てきました。

もうそろそろ手術をしたらと勧められ、6月15日関西労災病院で手術を受けてきました。執刀していたいただいたのは、スポーツ整形外科で高名な井上雅裕先生でした。

腰椎麻酔は初体験でしたが、1、2分もすると、足は鉛が入ったように、上に挙げようとしてもびくともしません。びくくりしました。

術後は2日目から軽いリハビリを開始され、これもびくくり。

4日目に退院を許され、すぐに診察が出来ました。とにかく大腿部の筋力をつけるように指示されましたから、有酸素運動は当分見合わせ器具を使つての筋肉トレーニングと水中での歩行訓練に励んでおります。

時には過度になりすぎ、関節液を抜くことがあります。まずは順調に回復しております。

内視鏡で手術をしておられる先生では、あたりまえのことでしょうが、最近の手術つてすごいなあと感じました。

ところでこれは生涯教育の病院における研修になりまへんか？
しょうがいでも膝の障害はあかん！

注1 X O 醬について

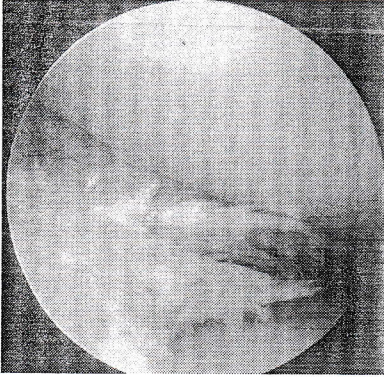
最近中華料理屋さんに行くと、メニューにX O 醬と書かれてあります。

この由来は、香港を中心とした華僑の人々は、最上の待遇の時
は紹興酒ではなくブランデーで乾杯をします。

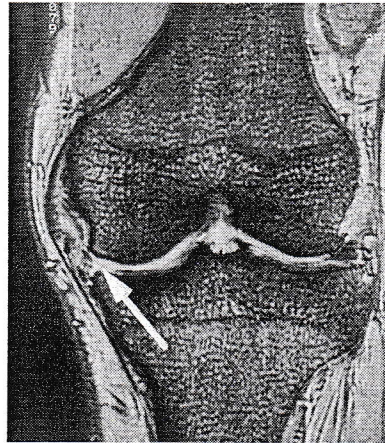
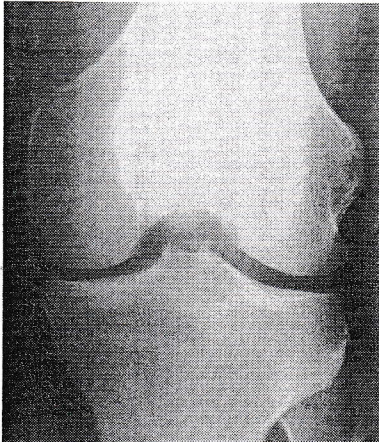
ブランデーの最上級品質のX Oと同じで、中華一番だしを含め最
高級の味付けをした調味料を使っていますという表示です。

但し店によってX O 醬の味はまったく異なりますから、誤解し
ないで下さい。

関節鏡視像
(内側半月の変性断裂)



単純レ線
(ローゼンバーク像)



MRI像 (前額面)